

第3回平塚駅周辺地区まちづくりセッション 開催報告

1 開催概要

日 時：令和8年7月30日(木) 午後4時00分から午後6時00分

場 所：ひらしん平塚文化芸術ホール 多目的ホール

出席者：東海大学、明石町会、セレストタワー湘南平塚自治会、代官町自治会

平塚駅周辺再開発構想会議、ひらつか市民活動センター、ひらしん平塚文化芸術ホール
平塚まちなか活性化隊、平塚市商店街連合会、平塚商工会議所、平塚商工会議所青年部
公益社団法人平塚青年会議所、株式会社 JR 横浜湘南シティクリエイト
神奈川中央交通株式会社、平塚信用金庫、横浜ゴム株式会社

平塚市 都市整備課

株式会社アルメック

次 第：開会

挨拶

プログラム

- (1) 平塚駅周辺地区まちづくりセッションの目的
- (2) 平塚市の取組
- (3) 分科会の取組
- (4) まちづくりの動向
- (5) まちづくりの意見交換

閉会

配布資料：次第

参加者名簿

資料1 平塚駅周辺地区将来構想の取組

資料2 平塚商工会議所青年部の取組

2 議事要旨

開会

午後4時に開会。

東海大学教授の梶田氏がファシリテーター兼司会を担当。

挨拶

平塚市 西ヶ谷駅周辺地区整備担当部長

プログラム

(1) 平塚駅周辺地区まちづくりセッションの目的

平塚市都市整備課より、「まちづくりセッションの目的」、「エリアマネジメントのイメージについて」説明がされた。(資料1)

[その他質疑]

なし

(2) 平塚市の取組

平塚市都市整備課より、「都市再生整備計画に基づく5年間の取組」「道路再整備、公園再整備に向けたワークショップ」について説明がされた。(資料1)

平塚市交通政策課より、「自動運転バスの社会実験に向けた取組」説明がされた。(資料1)

[その他質疑]

- ・自動運転レベル4は、運転手を同乗しなくてよいのか。介助が必要な場合はどのようにするのか。
→法律上では、同乗しなくてよい。初期は運転席でない席から運転手が介助する。将来的には社外から遠隔操作で対応できる形を目指す。
- ・湘南スターモールのパーキングメーターの廃止について、単純に廃止するという形ではなく調整しながら検討して欲しい。
→アンケート等を実施して、利用実態の把握を行う。受け皿となる紅谷町駐車場の低層階は、一般の人が止められない状況となっている。その利用方法も踏まえて調整する。
- ・紅谷パールロードの暫定駐輪スペースをどのようにしたいと考えているのか。
→駅周辺地区の顔である紅谷パールロードを活用していきたいと考えている。商店街利用者以外の人が利用しているケースが多い。平塚駅西口駐輪場など受け皿が整ってきたためパールロード商店街と協議をした上で駐輪スペースの撤去に向けて調整していく。また、運用上のルールも含めて検討していく。
- ・都市再生整備計画に基づく5年間の取組について、取組自体が少ないのではないのか。
→活動が活発な箇所や老朽化している箇所、まちの顔となる箇所から実施する。状況を見ながら柔軟に対応していく。20年間の取組として考えていただきたい。

(3) 分科会の取組

横浜ゴム株式会社より、「タイヤパンプロジェクト分科会」について説明がされた。(資料1)

平塚駅周辺地区再開発構想会議より、「企画分科会」について説明がされた。(資料1)

[その他質疑]

なし

(4) まちづくりの動向

平塚市都市整備課より、「紅谷町5番街区について」について説明がされた。(資料1)

平塚商工会議所青年部より、「平塚商工会議所青年部の取組について」について説明がされた。(資料1)

2)

[その他質疑]

なし

(5) まちづくりの意見交換

紅谷パールロードの活用（将来的なイメージ）について、参加者と意見交換を行った。（資料1）

各グループの結果

Aグループ

【内容】

○グルメ・通り

- ・道路をフードコートのように使える空間へ。
- ・単なる通過点ではなく、滞在する「広場」としての位置づけ。
- ・道路、歩道、公園が一体となり賑わいを生む（屋台通り）。
- ・日中はさわやかな雰囲気で集客のある飲食店、オープンカフェ。夜は夜市（ナイトマーケット）の開催。日中と夜間は違うまちの顔を見せるようにする。
- ・日常とイベント時の差別化をする。毎週末にイベントがある通り。
- ・湘南スターモールとの差別化。

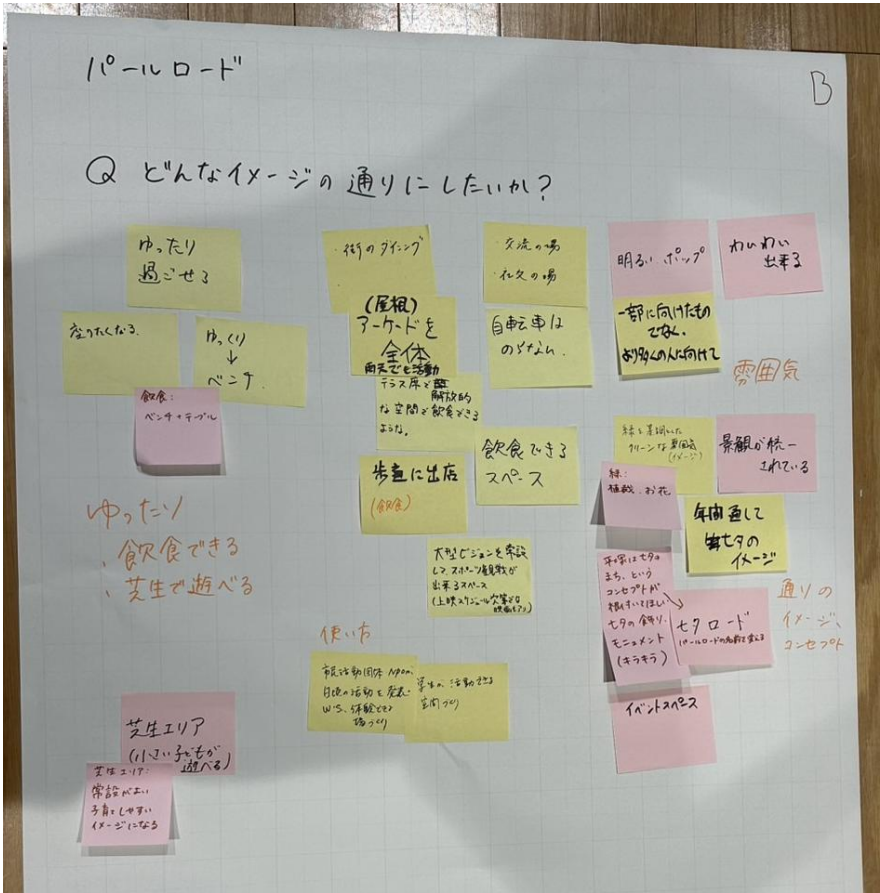
○空間の構成（通り & 店舗）

- ・ベンチ、イス、テーブルなど、座って過ごせる場所の設置。
植栽と座る場所の融合（緑豊かな休憩スペース）。
- ・小さなスペース、低家賃で商売ができる建物（仕組み）があると良い。
- ・子どもや親（子育て世代）が集まれる・遊べる場所。
- ・チェーン店から、魅力ある個店（個々の責任・工夫による店）が集まる通りへ。
- ・チャレンジショップ、シェアコンテナ。

○実現に必要なもの（ハード）

- ・アーケードからの雨漏りがしないよう、行政の力も借りて整備する。
- ・買い物客が自転車を止めやすくする（駐輪しやすい環境づくり）。
- ・電源の確保、ミスト（暑さ対策・冷房効果）。
- ・パールロードを象徴するモニュメントの設置。

- ・スターモールとの差別化を図り、パールロード独自のコンセプトを明確にしたい。
- ・七夕まつりなど一時的なイベントだけでなく、年間を通じて楽しめる通年を目指したい。
- ・商品や飲食など、「わざわざ買いに行きたい」と思ってもらえるような魅力づくりも考えられる。
- ・舗装や植栽、家具などのデザインを統一し、「パールロードらしい」景観・雰囲気をつくることも重要。



Cグループ

【内容】

- 目指す街のイメージ・雰囲気
- ・治安を守りつつ、明るく、綺麗で、おしゃれなストリートを目指す。
 - ・子ども、学生、お年寄りまで誰もが座って過ごせる椅子やベンチの設置。
 - ・年間を通じて七夕の雰囲気や飾り付けを感じられる空間づくり。
 - ・高い天井の頑丈なアーケードを整備し、雨でも活動できる工夫。
 - ・道路とお店の境界をなくし、一体となって賑わいがあふれる空間へ。
- 設置したい設備・機能
- ・気軽に腰掛けたいくなるデザイン性の高いベンチ、飲食用のテーブルと椅子。

- 設置したい設備・機能

- ・気軽に腰掛けたいくなるデザイン性の高いベンチ、飲食用のテーブルと椅子。

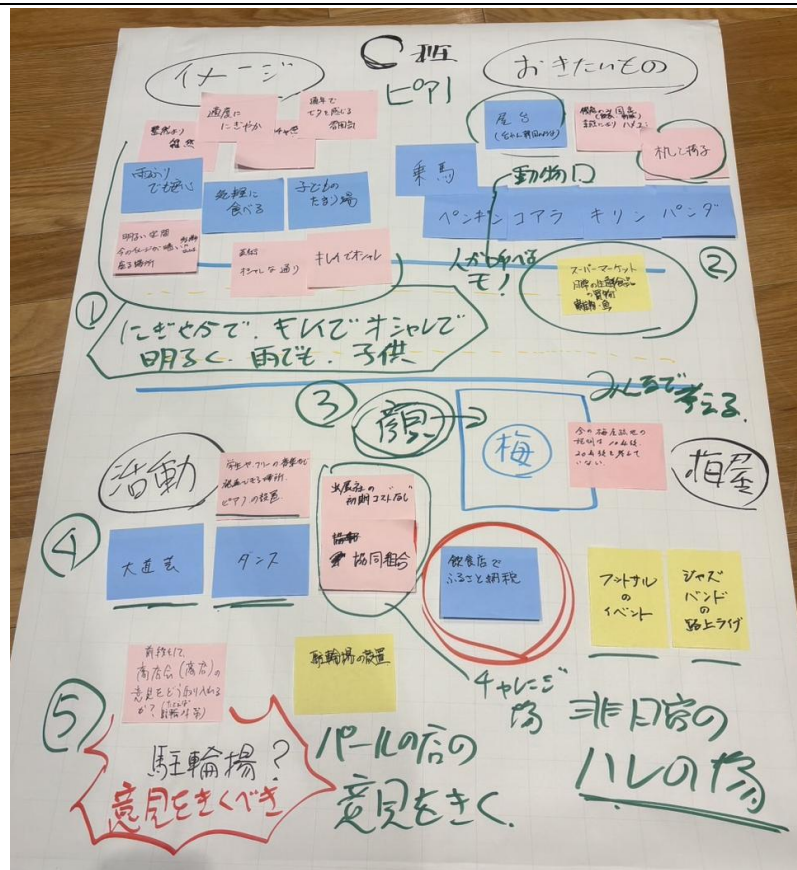
- ・誰でも弾ける「ストリートピアノ」、芝生エリア。
- ・食べ歩きができるグルメ、チャレンジショップ、日常の買い物ができるスーパー、夜市のような屋台。
- ・跡地（空き地）は「街の顔」として、中長期的な視点で活用を検討。
- ・動物園のような「人を呼び込める」施設。例えばパンダ等はいらただけで全国的に話題性がある。

○実施したい活動（ソフト事業）

- ・チャレンジの場としての活用、地元飲食店の支援（ふるさと納税の返礼品連携など）
- ・週末を中心に、大道芸、ダンス、ジャズなどの路上ライブ、フットサル等を実施
- ・パールロード単体だけでなく、スターモールや八幡山公園などと連携して毎週イベントを開催し、リピーターを増やす

○解決すべき課題と今後の進め方

- ・日常のちょっとした買い物に不可欠な駐輪場（一時・常設）のあり方の検討
- ・パールロードの店舗関係者や住民の意見をしっかりと聞き、巻き込んで進める
- ・具体的にどのくらいの期間で計画を進めるのか、タイムラインの共有
- ・今回の意見をベースに、次回以降は実際の社会実験へとステップを進める





今回出た意見をもとに社会実験を実施していく。

〔総括〕 東海大学教授 梶田氏

- ・通りとしてのイメージをどのように定着していくのか。
- ・滞在してもらうための工夫が必要。
- ・ネットワークでまちづくりを考えていく必要がある。
- ・店舗内と道路空間をシームレスする方法を考える必要がある。

閉会

平塚市 森川駅周辺地区整備担当課長